

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 担当課(室) 教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 合 職・氏名 係長 畑下昌代 先 電 話 63-3813 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち	
	小項目	施策	08	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事務事業名		02		スポーツ推進事業	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	①スポーツ少年団・体育協会等社会体育団体 ②体づくり・健康維持・技術の向上を目指したスポーツ愛好者 ③スポーツ大会に出場する市民と観覧者 ④大会に出場するアーチェリーの競技者と観覧者		
目的(何のために)	①スポーツ少年団・体育協会育成等の支援を行い、活性化を図る。②年齢や適性、地域や職場等の実態に応じたスポーツ活動を推進するための機会や情報提供 ③市民のスポーツ活動の発表の場を提供 ④アーチェリーの全国大会を開催し、アーチェリー競技の拠点づくりを行う。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	①各種団体を支援をし、市と協働でスポーツ振興を行う。②定期的な運動・スポーツの実施率の向上を図る。③日頃の練習の成果等、活動の発表の場を提供することにより、スポーツの楽しさと交流を図る。④全国大会の開催により、地域での活性化を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	社会体育団体育成事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会の事務局	○
	スポーツ教室・研修会等の開催事業	研修会の開催(前期・後期) スポーツ教室(出前スポーツ教室・ルビィックワーク教室・登山教室)	○
	スポーツ大会等開催事業	大会の開催(チャレンジデー・スイング・リレー・コンパル・テニスクール・スポーツフェスティバル)	◎
	スポーツ拠点づくり推進事業	全日本キャデット・アーチェリー選手権大会の開催	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	1,022	5,374	6,026
	必要人員	人	0.70人	0.75人	0.73人
	事業費	千円	7,537	12,257	13,196
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
市債	千円				
その他( )	千円				
一般財源	%	7,537	12,257	13,196	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	説明		各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数(チャレンジデーは除く)		
	結果指標量	人	4,039	4,176	4,407
	対前年比	%	-	103.4%	105.5%
	活動コスト	円	0	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数	目標値(A)	10,500	10,500	10,500	10,500
	実績値(B)	4,039	4,176	4,407	到達目標値
	達成率(B/A)	38.47%	39.77%	41.97%	10,500
成果指標設定の考え方・式や説明					
市主催の、各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室に参加した人数					

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	市民総参加型イベントであるチャレンジデーの参加率50%を目指し、これをきっかけに、市民が週1回15分以上運動やスポーツをし、定期的な運動・スポーツの実施率が上がるよう呼びかける。また、指導者育成の研修会や地域で参加できるスポーツ教室を開催する。						

総合評価		総合評価	
市民総参加型イベントに参加することで、運動やスポーツのきっかけづくりとなり、また、体験型スポーツイベントであるスポーツフェスティバルで、スポーツの楽しさを知らせることで、スポーツ実施率が向上し、健康で明るい生活につながる。今後も市民からの情報をたくさん入手し、だれもが気軽に参加できるイベントを開催する必要がある。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加でき、スポーツに親しめる環境づくりに努めるためには、市民のニーズに合った、だれもが参加しやすいスポーツイベントやスポーツ教室の企画をする必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな